

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 地域市民センター及び地区会館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

5月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	5月					改善プラン		所管課確認	
						指定管理者の自己評価		所管課評価			時期	内容	対応状況	次年度対応
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無				
1	5	5月10月2月	施設の安定した管理運営	【人材の育成】 高度なサービスを提供するため、接客技術向上などの研修を行い、職員の育成を図る。	事業計画書(人員配置計画)、事業報告書、研修報告書、実地調査	B	主任業務員会議を通じて職員の育成に努めた。(5月)	B		無				
2	12	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 定期的なアンケート調査の実施などにより市民ニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映する。 <成果目標・指標> 肯定的評価が100%	利用者満足度調査票及び報告書	B	質問項目の見直しを図り、10月に実施する予定。	B		無				
3	14 21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 「利用団体カルテ」の作成や「地域伝言板」の設置を行い、サークル紹介や利用者相互の情報交換を図る。 <成果目標・指標> 肯定的評価が100%	ホームページ、広報誌、報告書、実地調査	B	昨年度末に設置した地域情報板により情報発信を開始した。	B		無				
4	14 17	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 和室のPRや調理室の料金設定見直しなど、利用率が低い部屋の利用促進を図る。 <成果目標・指標> 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、日報、月報、事業報告書	B	コミュニティ事業を利用率の低い部屋で開催するなど利用促進を図った。	B		無				
5	17 21	5月10月2月	サービス向上・利用者増 地域でのコミュニティづくり	【利用促進②、コミュニティづくり】 「地域ふれあいサロン」を開設し、市民センターが核となった地域のコミュニティづくりを推進するとともに、サロン参加者等による新たなサークル活動へつなげていくことにより利用率の向上を図る。 <成果目標・指標> 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、事業報告書、ホームページ	B	4月より、元八王子市民センターにおいて地域ふれあいサロンを毎月1回実施した。	B	年度当初から、地域ふれあいサロンを実施できたことを評価する。	無				
6	16	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページの充実や広報紙の活用などにより、積極的な情報発信を行い、施設のPRを図る。 <成果目標・指標> 指定期間内における利用率の5%アップ	ホームページ、広報誌	B	ホームページを通じて施設の情報を発信した。	B		無				
7	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減①】 業務内容や契約方法など委託業務の見直しを行い、コストの削減を図る。	事業計画書、事業報告書、契約書類	B	委託業務やプロパンガスの単価契約などを複数年契約とし、コストの削減を図った。	B		無				
8	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減②】 冷暖房設定温度の徹底や照明のLED化などにより、光熱水費の節減に取り組む。	事業計画書、事業報告書	B	冷暖房設定温度の徹底や節電について、利用者へも周知を図り光熱水料費の節減に取り組んだ。	B		無				
9	19	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【市民との協働】 地域住民協議会やコミュニティ推進員と連携・協働し、市民センターを核とした地域の良好なコミュニティづくりを推進するとともに、利用者の目線に立った地域に密着した管理運営を行う。	事業計画書、事業報告書	B	4月より、元八王子市民センターにおいてコミュニティ推進員と協働し、地域ふれあいサロンを毎月1回実施した。住民協議会と協働し、市民センターの補償管理を行った。	B		無				
10	20	5月10月2月	環境配慮	【エコ活動】 省エネルギーや3Rなど、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	実地調査、ヒアリング	B	冷暖房設定温度の徹底や節電について利用者へも周知を図り、環境配慮に取り組んだ。	B		無				
11	24	5月10月2月	安全安心・危機管理	【防災対策】 危機管理体制を整備し、未然の防止策や、万一の際の「被害の最小化と二次災害・事故の防止」への対応を確立するとともに、緊急事態対応マニュアルを作成し緊急時の対応を周知・徹底する。	マニュアル、事業計画書、事業報告書	B	市民センター震災応急計画を作成し、緊急時に速やかに対応できるよう検討を行った。	B		無				

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 地域市民センター及び地区会館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

10月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	10月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	5	5月10月2月	施設の安定した管理運営	【人材の育成】 高度なサービスを提供するため、接客技術向上などの研修を行い、職員の育成を図る。	事業計画書(人員配置計画)、事業報告書、研修報告書、実地調査	B	主任業務員会議を通じて職員の育成に努めた。(7月・9月)	B		無				
2	12	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 定期的なアンケート調査の実施などにより市民ニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映する。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が100%	利用者満足度調査票及び報告書	B	インターネット利用に関する質問を増やし、不満の理由を記入する欄を加えた様式で利用者満足度調査を10/1～10/31に実施した。(2182サンプル回収)	B		無				
3	14 21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 「利用団体カルテ」の作成や「地域伝言板」の設置を行い、サークル紹介や利用者相互の情報交換を図る。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が100%	ホームページ、広報誌、報告書、実地調査	B	画像により各館の地域情報板の工夫を共有し、より良い情報板づくりに役立てた。	B		無				
4	14 17	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 和室のPRや調理室の料金設定見直しなど、利用率が低い部屋の利用促進を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、日報、月報、事業報告書	B	コミュニティ事業を利用率の低い部屋で開催するなど利用促進を図った。	B		無				
5	17 21	5月10月2月	サービス向上・利用者増 地域でのコミュニティづくり	【利用促進②、コミュニティづくり】 「地域ふれあいサロン」を開設し、市民センターが核となった地域のコミュニティづくりを推進するとともに、サロン参加者等による新たなサークル活動へつなげていくことにより利用率の向上を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、事業報告書、ホームページ	B	4月より、元八王子市民センターにおいて地域ふれあいサロンを毎月1回実施した。	B	本年度の事業計画で予定されている2か所目の実施に向け、引き続き務められたい。	無				
6	16	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページの充実や広報紙の活用などにより、積極的な情報発信を行い、施設のPRを図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	ホームページ、広報誌	B	数か月先までの施設の空き情報掲示を促進し、情報提供によるサービス向上を図った。各市民センターの情報をホームページを通じて情報発信した。(みなみ野分館ふるさと資料館など)	B		無				
7	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減①】 業務内容や契約方法など委託業務の見直しを行い、コストの削減を図る。	事業計画書、事業報告書、契約書類	B	インターネットのプロバイダー契約を複数年契約とし、コスト削減を図った。	B		無				
8	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減②】 冷暖房設定温度の徹底や照明のLED化などにより、光熱水費の節減に取り組む。	事業計画書、事業報告書	B	冷暖房設定温度の徹底や節電について、利用者へも周知を図り光熱水料費の節減に取り組んだ。	B		無				
9	19	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【市民との協働】 地域住民協議会やコミュニティ推進員と連携・協働し、市民センターを核とした地域の良好なコミュニティづくりを推進するとともに、利用者の目線に立った地域に密着した管理運営を行う。	事業計画書、事業報告書	B	4月より、元八王子市民センターにおいてコミュニティ推進員と協働し、地域ふれあいサロンを毎月1回実施した。住民協議会と協働し、市民センターの植栽管理を行った。	B		無				
10	20	5月10月2月	環境配慮	【エコ活動】 省エネルギーや3Rなど、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	実地調査、ヒアリング	B	冷暖房設定温度の徹底や節電について利用者へも周知を図り、環境配慮に取り組んだ。	B		無				
11	24	5月10月2月	安全安心・危機管理	【防災対策】 危機管理体制を整備し、未燃の防止策や、万一の際の「被害の最小化と二次災害・事故の防止」への対応を確立するとともに、緊急事態対応マニュアルを作成し緊急時の対応を周知・徹底する。	マニュアル、事業計画書、事業報告書	B	市民センター震災応急計画を作成し、緊急時に速やかに対応できるよう検討を行った。	B		無				

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 地域市民センター及び地区会館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

2月

NO.	期末モニタリング 番号	評価 月	評価項目	具体的な事業内容 と 成果目標・指標	確認 資料 等	2月						所管課確認			
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		時 期	内 容	対 状	次 年 度 対 応
						評 価 区 分	コ メ ン ト	評 価 区 分	コ メ ン ト	改 善 ・ 指 摘 事 項 の 有 無					
1	5	5月 10月 2月	施設の安定した管理運営	【人材の育成】 高度なサービスを提供するため、接客技術向上などの研修を行い、職員の育成を図る。	事業計画書(人員配置計画)、事業報告書、研修報告書、実地調査	B	AED研修を実施した。(1月)主任業務員会議を通じて職員の育成に努めた。(11月・1月)	B		無					
2	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 定期的なアンケート調査の実施などにより市民ニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映する。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が100%	利用者満足度調査票及び報告書	B	満足度調査の要望をふまえ、速やかに対応できることから実施した。	B		無					
3	14 21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 「利用団体カルテ」の作成や「地域伝言板」の設置を行い、サークル紹介や利用者相互の情報交換を図る。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が100%	ホームページ、広報誌、報告書、実地調査	B	画像により各館の地域情報板の工夫を共有し、より良い情報板づくりに役立てた。	B		無					
4	14 17	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 和室のPRや調理室の料金設定見直しなど、利用率が低い部屋の利用促進を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、日報、月報、事業報告書	B	利用率の低い和室や調理室でコミュニティ事業を開催した結果、二つのサークルが誕生した。	B		無					
5	17 21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増 地域でのコミュニティづくり	【利用促進②、コミュニティづくり】 「地域ふれあいサロン」を開設し、市民センターが核となった地域のコミュニティづくりを推進するとともに、サロン参加者等による新たなサークル活動へつなげていくことにより利用率の向上を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、事業報告書、ホームページ	B	4月より、元八王子市民センターにおいて地域ふれあいサロンを毎月1回実施した。(2月は大雪のため中止)	B		無					
6	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページの充実や広報紙の活用などにより、積極的な情報発信を行い、施設のPRを図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	ホームページ、広報誌	A	各ブロック別にチラシを作成し、全住民協議会の協力により各住民協管内の町会・自治会等へ配布することにより市民センターの周知を図った。	B	計画に基づき施設のPRを図っているものであり、計画を上回る成果があったとは認められない。	無					
7	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減①】 業務内容や契約方法など委託業務の見直しを行い、コストの削減を図る。	事業計画書、事業報告書、契約書類	A	電気料削減のため、新電力導入に向けた準備を進めた。	B	PPSの導入に向けた検討を行っていることは評価するが、現時点では経費の削減等に結びついていないことからB評価とする。	無					
8	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減②】 冷暖房設定温度の徹底や照明のLED化などにより、光熱水費の節減に取り組む。	事業計画書、事業報告書	B	冷暖房設定温度の徹底や節電について、利用者へも協力を求め、光熱水料費の節減に取り組んだ。	B		無					
9	19	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【市民との協働】 地域住民協議会やコミュニティ推進員と連携・協働し、市民センターを核とした地域の良好なコミュニティづくりを推進するとともに、利用者の目線に立った地域に密着した管理運営を行う。	事業計画書、事業報告書	B	4月より、元八王子市民センターにおいてコミュニティ推進員と協働し、地域ふれあいサロンを毎月1回実施した。(2月は大雪のため中止)	B		無					
10	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 省エネルギーや3Rなど、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	実地調査、ヒアリング	B	冷暖房設定温度の徹底や節電について利用者へも協力を求め、環境配慮に取り組んだ。	B		無					
11	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防災対策】 危機管理体制を整備し、未だの防止策や、万一の際の「被害の最小化と二次災害・事故の防止」への対応を確立するとともに、緊急事態対応マニュアルを作成し緊急時の対応を周知・徹底する。	マニュアル、事業計画書、事業報告書	A	八王子市との共催により元八王子・恩方・川口市市民センターにおいて避難所開設訓練を実施し、緊急時の対応を検証した。また、八王子市と連携し、大雪時の帰宅困難者のための避難所として子安市民センターを開放し、運営に協力した。	B	避難所開設訓練については、計画に基づき実施しているものであり、また、子安における一時滞在施設の開設についても、協定に基づく対応で、運営は市が行っていることから、目標や計画どおりの成果があったものとしてB評価とする。	無					

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 地域市民センター及び地区会館

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
1	5	5月 10月 2月	施設の安定した管理運営	【人材の育成】 高度なサービスを提供するため、接客技術向上などの研修を行い、職員の育成を図る。	事業計画書(人員配置計画)、事業報告書、研修報告書、実地調査	B		
2	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 定期的なアンケート調査の実施などにより市民ニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映する。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が100%	利用者満足度調査票及び報告書	B		
3	14 21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 「利用団体カルテ」の作成や「地域伝言板」の設置を行い、サークル紹介や利用者相互の情報交換を図る。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が100%	ホームページ、広報誌、報告書、実地調査	B		
4	14 17	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 和室のPRや調理室の料金設定見直しなど、利用率が低い部屋の利用促進を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、日報、月報、事業報告書	B		
5	17 21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増 地域でのコミュニティづくり	【利用促進②、コミュニティづくり】 「地域ふれあいサロン」を開設し、市民センターが核となった地域のコミュニティづくりを推進するとともに、サロン参加者等による新たなサークル活動へつなげていくことにより利用率の向上を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	事業計画書、事業報告書、ホームページ	B		
6	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページの充実や広報紙の活用などにより、積極的な情報発信を行い、施設のPRを図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間内における利用率の5%アップ	ホームページ、広報誌	B		
7	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減①】 業務内容や契約方法など委託業務の見直しを行い、コストの削減を図る。	事業計画書、事業報告書、契約書類	B		
8	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の節減②】 冷暖房設定温度の徹底や照明のLED化などにより、光熱水費の節減に取り組む。	事業計画書、事業報告書	B		
9	19	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【市民との協働】 地域住民協議会やコミュニティ推進員と連携・協働し、市民センターを核とした地域の良好なコミュニティづくりを推進するとともに、利用者の目線に立った地域に密着した管理運営を行う。	事業計画書、事業報告書	B		
10	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 省エネルギーや3Rなど、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	実地調査、ヒアリング	B		
11	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防災対策】 危機管理体制を整備し、未だの防止策や、万一の際の「被害の最小化と二次災害・事故の防止」への対応を確立するとともに、緊急事態対応マニュアルを作成し緊急時の対応を周知・徹底する。	マニュアル、事業計画書、事業報告書	B		